

《健康管理について》

元気で楽しい園生活が送れるよう、ご家庭と連携して子どもさんの健康管理に努めたいと思いますので、ご協力よろしくお願いいたします。

★規則正しい生活リズム（早ね・あいさつ・朝ごはん）づくりを心がけましょう

身体測定

毎月、月初めに身長・体重を計測し、出席ノート等に記入して、お知らせします。

園児健康診断（年間保健計画）

- | | | |
|-------|-------------|------------------|
| *内科健診 | 年2回（4月、11月） | 嘱託医：坂本医院（橋本尚子） |
| *歯科健診 | 年1回（5月） | 嘱託歯科医：藤本歯科（藤本敦仁） |
| *尿検査 | 年1回（5月） | |

衛生管理

- ・浄水器『ひやりん』（ウォーターサーバー）を設置しています。逆浸透膜で浄水された安全でおいしい水がいつでも飲めます。
- ・未満児クラスでは、食事の際、使い捨てのおしぼりペーパーを使用しています。
- ・各クラスのおもちゃや人形は殺菌保管庫にて殺菌したり、洗濯・日干ししたり、消毒液で拭いたりして衛生的に遊べるよう配慮しています。
- ・出入口、テーブル、床等は毎日数回、こまめに消毒液で拭きあげています。
- ・感染症予防のため、殺菌・加湿効果のある噴霧器や空気清浄器を設置しています。
- ・コップ、歯ブラシは毎日洗浄・乾燥します。歯ブラシは専用殺菌保管庫にて管理しています。



感染症について

- ・感染症が疑われる場合、症状がみられる際は、早めに専門医を受診して下さい。
- ・感染症（感染性胃腸炎、水痘、おたふく風邪、インフルエンザ、ノロウイルス、結膜炎など）と診断された場合は、園内感染防止のため、完治までお休みさせて下さい。また、感染症が治り登園される際は、『意見書』の提出が必要となります。

意見書について

『意見書』とは、発症後感染力がなくなり、集団生活が可能な状態に回復したことを担当医に証明してもらう書類です。感染以降、回復し登園される際に必要となります。

感染症の集団発生や流行をできるだけ防ぎ、園児が安心安全に過ごせるようご協力をお願いします。

意見書は、再受診の際病院へ持参し、医師に記入をしてもらい、園へ提出して下さい。意見書は園にありますので、必要な際職員へお知らせください。（疑わしい場合など、事前にもらわれても構いません）

※嘱託医である坂本医院には意見書を置いていただいていますので、受付の方に必要な際、お伝え下さい。

※ひらおぎ保育園ホームページの【お知らせ】ページ内にご家庭より意見書がダウンロードできる【意見書ダウンロード】を追加しましたのでご活用下さい。

※新年度に1枚ずつ意見書を配布します。必要な際ご利用下さい。

必要に応じてコピーして頂いて構いません。



《健康面についてのおねがい》



- 新型コロナウイルス感染拡大予防のため、毎朝必ず検温し、花・星組は連絡ノート、月・空・虹組は健康観察カードにご記入下さい。
発症の目安とされる37.5℃以上ある場合は登園自粛をお願いする場合があります。
- 子どもさんの健康状態に変化がある際は、必ず連絡帳又は登園時にお知らせ下さい。
- 発熱時（37.5℃以上）、嘔吐や下痢が数回続く場合、身体に異常がみられる場合は、お迎えをお願いします。
乳幼児は、症状が急変しますので連絡がつく保護者の方の連絡先を明確にしておいて下さい。
※緊急連絡カードに記載の連絡先順に連絡をします。
連絡先が変わられた場合（転職・転居等）や、提出した緊急連絡先と異なる場合は、必ずお知らせ下さい。
- 持病（アレルギー体質、ひきつけ、熱性けいれん、脱臼、ヘルニア、小児ぜんそく等）のある子どもさんは必ずお知らせ下さい。
また、37.5℃以前に連絡が必要な方、特に気がける症状等ある方は担任へお知らせ下さい。
- 定期健診や予防接種は必ず受けて下さい。
- 早寝早起きを心がけ、朝食は必ず食べ、毎朝排泄・排便の習慣を付けましょう。
- 起床後は必ずオムツの交換・身なりを整え、清潔の習慣を身に付けましょう。
（歯みがき、顔洗い、爪きり、入浴、着替え）
- 登園では体力づくりのため、毎日運動あそびを取り入れ、戸外あそびの時間を大切にしています。安全に思いきり活動できる、汚れても心配のない服装での登園をお願いします。

長い髪の毛は結びましょう

活動により視界が悪かったり、不衛生になる場合があります。

保育園での服装

着替えの補充もお忘れなく

活動や汚れに応じて着替えます。
毎日2～3セット（服上下、下着）の着替えを必ず持たせて下さい。

体にあった動きやすい服装

大きめの服、チュニック、ワイドパンツ類、ワンピースやスカート（スカートやチュール付きズボン含む）は、うんていや遊具に引っかかったり、手足が上がりにくかったりと、転びやすく危険です。



足に合った靴

大きめの靴は走りづらく、脱げやすく、危険です。
自分で着脱しやすいサイズやデザインの靴を選びましょう。
（サンダル類は禁止です）